

柏市議会議員 / 柏清風

令和3年 冬号

市民に
寄り添う
市政。

市政レポート vol.4

発行：柏市議会議員 桜田しんたろう <http://www.s-sakurada.jp> ...
〒277-0814 柏市正連寺 373-1 FAX：04-7135-3821



桜田 さくらだ しんたろう

柏清風所属（構成員14名の保守系最大会派）。平成30年度、令和元年度、令和2年度決算審査特別委員会委員。
平成30年度、令和元年度 常任委員会 総務委員会に所属。令和3年度、常任委員会 市民環境委員会（副委員長）
に所属。令和3年度、議会運営委員会。令和3年度、議会広報委員会。



令和3年 第3回定例会

定例会日程	開会（招集日）	令和3年9月3日
	質疑並びに一般質問	9月9日～16日
	常任委員会	9月17日・21日
	閉会（採決）	令和3年9月24日

令和3年第3回定例会では、市内飲食店売上回復事業、新型コロナウイルス感染症宿泊療養事業、自宅療養者等に対する医療支援の体制確保等多くの新型コロナウイルス対策の補正予算が可決されました。
また、桜田しんたろうは9月定例会にて登壇し、新型コロナウイルス感染症対策を初め多くの地域の諸問題について質疑並びに一般質問を行いました。

可決された主な議案の内容

市内飲食店売上回復事業（市独自施策）

事業費5億5,005万円
飲食店を対象としたキャッシュレス決済によるポイント還元を実施。

キャンペーン概要

キャンペーン期間：令和3年12月1日(水)から令和4年2月28日(月)まで
ポイント還元率：30%
ポイント付与上限：3,000円相当 / 回 30,000円相当 / 期間中
対象店舗：市内飲食店（原則、中小企業者及び個人事業主に限る）
対象店舗：市内全域
ポイント付与対象者：対象店舗の利用者（利用者の在住地域は問わない）

新型コロナウイルス感染症宿泊療養事業

事業費6億6,579万円
軽症者等の宿泊療養施設を市内に確保し、受入れを実施。

事業費の主な内容

1. 施設の賃借料
2. 施設運営等の委託料
3. 医師派遣負担金
4. 消耗品費（衛生用品、寝具類等）

自宅療養者等に対する医療支援の体制確保（市独自施策）

事業費2,920万円
地域の医療機関、訪問看護ステーション、薬局と連動し、在宅医療の支援体制を整備するもの。

定例会 質疑並びに一般質問

1 新型コロナウイルス感染症対策について

1. 新型コロナウイルスワクチン接種
2. 総合的な医療提供体制の強化
3. 自宅療養、宿泊療養施設の体制
4. 柏市中小企業資金融資制度
5. 飲食店感染防止対策認証制度
6. コロナ対策設備補助金



2 教育行政について

1. コロナ禍における新学期体制
2. 通学路の安全・スクールバス



3 環境行政について

- (1) 北部クリーンセンター
- (2) 放射線灰の管理
- (3) ごみステーション



4 地域の課題について

1. 柏インター西土地区画整理事業
2. 大青田地区の上水道管布設設備
3. 公共交通空白不便地域対策

5 千葉北西連絡道路について

第2回千葉北西連絡道路検討会開催

6 防犯・防災対策について

- (1) 防犯ボックス事業
- (2) 土砂災害・水害対策



新型コロナウイルス感染症対策について

- Q 病床のさらなる確保状況は。
- A 中等症や重症患者の受入れ状況が困難となっていることから、県において重症者用の病床を中心に、さらなる病床の確保を図っている。
- Q 宿泊療養施設の拡充状況は。
- A 柏市大島田にあるホテルを借り上げ、9月15日から宿泊療養施設の運営を開始する。
- Q 自宅療養者のための酸素濃縮装置の確保状況は。
- A 市では自宅療養者のうち中等程度の患者で、柏市保健所が医師による診療が必要と判断した方に対して医師と訪問看護師、薬剤師の在宅医療支援チームと酸素濃縮装置を供給する在宅医療機器事業者との協力体制により在宅医療支援を行っている。酸素濃縮装置は、常時60台を確保している。
- Q 自宅、宿泊療養者に配布するパルスオキシメーターの確保状況は。
- A 市で、1000個を配備している。
- Q 酸素ステーションの開設状況は。
- A 県が開設に向けて検討している。市においては自宅療養者の夜間の急変に備えて、市立柏病院において8月25日から夜間緊急外来を開設している。これは、夜間帯に呼吸苦などを伴う呼吸器症状が悪化し、救急搬送を必要とする場合で入院調整が困難な場合に市立柏病院に夜間緊急外来として受け入れ、診療並びに酸素投与等の一時的な処置を行うもの。
- Q 柏市中小企業融資制度2000万円の融資枠拡充、返済期間、据置期間の延長はできないか。
- A 千葉県信用保証協会、市内金融機関とも協議の上、検討する。

環境行政について

北部クリーンセンター

- Q 北部クリーンセンターの今後の運転管理と長寿命化工事の取組は。
- A 長寿命化総合計画を基に令和5年度にかけて、次の運営期間の事業管理の方式や長寿命化に向けた基幹的設備改良工事の様子の検討などを進めて参ります。その後、令和6年度に工事着手し、令和8年度までの3カ年の工事期間を経て、令和9年度から令和23年度末までの15年間を施設更新後の稼働期間の予定とします。

放射線灰の管理

- Q 福島第一原発事故の放射線灰は、国より県内1カ所での集約管理の方針が出されているが、柏市では北部クリーンセンター及び南部クリーンセンターの敷地内、柏市最終処分場に一時保管され続けています。指定廃棄物の一時保管の解消への今後の取組は。
- A 環境省への訪問を重ね、同様の要望や打開策の提示、実行を粘り強く求め続けている。今後も引き続き仮保管周辺の方々の不安が解消されますよう国による長期管理施設の早期確保に向け、近隣4市と連携しながら強く要望していく。

地域の課題について

大青田地区の上水道管布設整備

- Q 大青田地区において区画整理予定地付近の既存住宅は、飲料水などの生活用水として自家用浅井戸を利用している。生活基盤である生活用水が安全で安心して利用できる上水道管の計画的な整備が必要と考えるが。
- A 井戸水の状況や要望者も多く、整備を進めることとする。まず土地区画整理事業に関し早期に実施することが必要な箇所の整備を行う。その後町会や要望者と話し合いを進めながら、順次整備を進めて参ります。

公共交通空白不便地域対策

- Q 大青田地域は、公共交通空白不便地域となっています。また、店舗やスーパーマーケット等の商業施設が近隣にありません。この先高齢化が進めば、買物もさらに困難になります。公共交通空白不便地域の対策状況をお示し下さい。
- A アンケート調査やヒアリング調査等に着手していきたい。また、日常の移動手段の確保と並行して買物が困難な地域を支援するため、株式会社カスマが地域の見守りを含めて10月上旬を目途に市内北部エリアにおいて移動販売を開始する予定。

千葉北西連絡道路について

第2回千葉北西連絡道路検討会開催

- Q 令和3年7月19日には柏、印西、野田、我孫子市長により千葉市と県北西部の東葛地域を新たに結び広域幹線道路、千葉北西連絡道路の早期建設に向けた要望書が国交省に提出され、令和3年8月30日には千葉県北西地域における道路計画の具体化に向けた第2回千葉北西連絡道路検討会開催された。検討会の内容をお示し下さい。
- A 県が今年6月に策定した千葉県広域道路交通ビジョン、千葉県広域道路交通計画において千葉北西連絡道路が高規格道路に位置づけられたことや千葉県北西地域における最近の交通状況について協議した。参加した市からは計画の早期具体化や利根川の堤防強化と併せたルート選定の検討などの意見があった。今後も引き続き県及び関係市と連携しながら国土交通省に対し千葉北西連絡道路早期実現に向けた取組の推進を要望していく。

防犯・防災対策について

土砂災害・水害対策

- Q おととしの台風15号や台風19号にて利根川の水位が上昇し、田中調節地は堤防の真下まで水位が上がってきました。柏ビレジや花野井地域からは国交省への水害対策、堤防の強化の要望がありますが、今後の水害対策は。
- A 柏ビレジや花野井町会などが近接する田中調節地の周囲堤防の強化については、国土交通省利根川上流河川事務所にて、令和2年3月に改訂された河川整備計画に基づき計画している。計画の内容は、堤防のかさ上げ、拡幅を行い、田中調節地洪水調整機能を約1,100万m³増やし、7,200万m³とすることが示されている。洪水被害の防止に向け早期事業着手について要望して参ります。

